



2025年1月4日発行

あけましておめでとうございます。

子ども達の元気な声や挨拶と共に、新しい年がスタートしました。新しい1年がお子様にとって、また保護者の皆様にとって笑顔あふれる年になりますよう、お祈り申し上げます。我々職員一同、今年も子ども達が保育園で楽しく過ごしていけるよう、より一層の努力して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。昨年末には、保護者会より三輪車とスクーターを寄付して頂き、どうもありがとうございました。安全面に留意しながら子ども達と楽しく遊んでいきたいと思ひます。

また今月は、2月に行なわれる生活発表会に向けて少しずつ子ども達と取り組んでいきます。楽しみながら、子ども達が達成感を十分味わい、次への自信・意欲に繋げていける取り組みになるよう工夫してまいります。ご家庭でも子ども達の話聞いて頂き、応援して下さいと、子ども達の励みになると思ひますので、どうぞよろしくお願い致します。

インフルエンザやコロナ等、感染症の流行が見られます。

保育園という場所は、集団で密に生活を共にして過ごしています。感染し始めると、瞬く間に広がってしまいます。今後も保育園では感染予防には十分気を付けてまいります。保護者の方々はお仕事をされており、なかなかお休みが取れない状況の中、誠に申し訳ありませんが、その点をどうかご理解いただき、気になる症状がある場合は必ず病院に受診の上、医師の判断を仰ぎ、登園するようにして下さい。どうぞよろしくお願い致します。

園長 山本 眞理子

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1月の行事予定

1月1日: 1月のお誕生会 (1, 2, 3, 4)

1月5日: 体育あそび教室 発育測定

1月8日: 太鼓教室 ふれあい (地域子育て支援)

1月9日: リトミック教室 (4・5歳)

1月14日: 英語あそび教室

1月15日: びよびよ (地域子育て支援)

1月16日: 生活発表会 予予行 布団乾燥

1月22日: 太鼓教室 誕生日会 無料法律相談

1月23日: リトミック教室 (2・3歳)

1月27日: 体育あそび教室

1月28日: 英語あそび教室 布団乾燥

1月31日: 節分

☆苦情解決委員会☆
 ◎苦情解決責任者 山本 眞理子
 ◎苦情解決窓口担当 山本 眞理子
 ◎苦情解決第三者委員 畑 健次郎・花岡 尚樹・酒井 咲子
 ※意見箱は玄関ホールに設置、園に対する苦情やご質問・ご要望等を受け付けております。又、子育てやそれらに関するご相談も随時受け付けております。

《法人の理念》
 本法人の理念「隣人愛」の精神に基づいて福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人々の人権を護り、その人の尊厳を尊重します

《保育園がめざす子ども像》
 ◆自分で考え意欲を持って行動する子ども
 ◆相手を思いやることのできる子ども
 ◆健康で生き生きと遊べる子ども
 ◆豊かな感性を持ち、力いっぱい表現する子ども

社会福祉法人 日本コイノニア福祉会
中宮まぶね保育園
 〒573-0011 枚方市中宮山戸町15-1
 Tel/072-840-2780 fax/072-840-3212
 E-mail nakamiya-encyo@koinonia.or.jp
 URL <http://www.koinonia.or.jp/nakamiya/>

1月うまれの おともだち



12月23日
クリスマス会



今月の聖書の言葉
 「受けるより与える方が幸いである」(使徒言行録20章35節)

明けましておめでとうございます。この年末年始は子どもたちにとっては楽しみの多い時だったのではないのでしょうか。クリスマスにはプレゼント、お正月にはお年玉をもらったことのある人も多いかと思ひます。誰でも何かをもらったりすることは嬉しいことですが、その一方で受けるばかりではなく他人に与える喜びというものもあります。様々なボランティアもそうでしょうし、子どもたちの小さなお手伝いもそうでしょう。たくさんものを手に入れても、持ち切れなくなってしまうこともありますし、そもそも人が亡くなる時には、あの世へは何も持っていけませんから、後に残るのは「その人がどれだけ手に入れたかよりも、どれだけ与えたかだ」と言われることもあります。

聖書の中に記されている「受けるより与える方が幸いである」というイエス様の言葉は、「たくさん与えた人の方が偉い」という意味ではなく、「自分が与えられて持っているものや力を、周りの人たちと分かち合う所にこそ、神様が共に働いて下さる」ということを意味しています。自分の持ち物を誰にも渡さないと躍起になって抱え込んでいる所にはちっとも安心はありません。相手への信頼や安心があるからこそ、自然と手を開いて「どうぞ」と持っているものを分かち合える。他人と一緒に何かをしたいと思える時、そこには自分一人を越えた存在からの力が注がれています。私たちは今年も神様と隣人に支えられて、共に分かち合う歩みへと導かれて参ります。

チャプレン・牛田匡